WARPSTAR

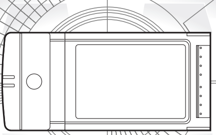
NEC

Aterm® WL54AG

PA-WL/54AG

ご使用になる前に 第8版

このたびは、『Aterm WL54AG』をお選びいただきありがとうございます。ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



Total 802.11 ABG ATHEROS

Total 802.11 Super AG ATHEROS

Total 802.11 XR EXTENDED RANGE ATHEROS

Wi-Fi CERTIFIED abg

技術基準適合認証品

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

目次

- Aterm 、WARPSTAR は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略です。
  ※本商品の Windows Vista® のサポートは、Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
- Windows® 7 は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版の略です。
  ※本商品の Windows® 7のサポートは、Windows® 7がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Netscape は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
- Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- JavaScript は、米国 Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Atheros、ABG、Super AG および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc.の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
- その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお選びいただきありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「ＮＥＣ・ＮＥＣアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合は、ご同意をいただけたものと致します。

NEC・NECアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・ NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

本商品をパソコンに装着してご利用になる場合のみ使用します。本商品を無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご利用になる場合は、インストールする必要はありません。

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、表示される「この CD-ROM について」（HTML ファイル）をよくお読みください。

① 無線 LAN カードの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows® 版）
② 無線 LAN カード用のドライバ一式（Windows® 版）
③ WL54TE（ETHERNET ボックス）の無線 LAN のセキュリティ設定を行う「Ethernet ボックスマネージャ」（Windows® 版）

CD-ROM の使い方

1 **パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする**

2 **表示される画面に従ってクリックする**

【ご使用上のご注意】

Windows Vista® または Windows® 7/XP/2000 Professional/Me でご使用の方

● 「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が自動起動しない場合には、以下の操作を行います。
　①［スタート］（Windows® のロゴボタン）をクリックし、［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［ファイル名を指定して実行］を選択する
　　※Windows® XP/2000 Professional/Me の場合は、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
　②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥index.html と入力し、［OK］をクリックする
　（例：CD-ROM ドライブ名が「Q」の場合、Q：¥index.html)
　また、パソコンにより異なりますが、画面を自動起動しないようにするには、「SHIFT」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
● ［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
　①［スタート］（Windows® のロゴボタン）をクリックし、［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［ファイル名を指定して実行］を選択する
　　※Windows® XP/2000 Professional/Me の場合は、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
　②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名とファイルを指定し（下記参照）、［OK］をクリックする
　　<CD-ROM ドライブ名が「Q」の場合の例>
　　Windows Vista® の場合　Q:¥utilV¥wr_vista_setup.exe
　　Windows® 7（32 ビット版）の場合　Q:¥util7_32¥wr_7_32_setup.exe
　　Windows® 7（64 ビット版）の場合　Q:¥util7_64¥wr_7_64_setup.exe
　　Windows® XP/2000 Professional/Me の場合
　　Q:¥util¥wr_xp_setup.exe
● CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「この CD-ROM について」（HTML ファイル）を閉じた後に行ってください。
● サテライトマネージャ、Ethernet ボックスマネージャのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● Windows® 動作環境

・ **Windows Vista® または Windows® 7/XP/2000 Professional/Me が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**

・ **推奨環境**

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

ハードディスク容量： 40MB 以上を推奨

メモリ容量： Windows Vista® の場合、512MB 以上を推奨
Windows® 7 の場合、1GB 以上を推奨
Windows® XP/2000 Professional/Me の場合、256MB 以上を推奨

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

※Windows Vista ®でご利用の場合、本商品は、Windows Vista ® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版のみに対応しています。

※本商品の Windows Vista® のサポートは、Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみです。
自作のパソコンはサポートしておりません。

※Windows ® 7 でご利用の場合、本商品は、Windows ® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版のみに対応しています。

※本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

お知らせ

●表示画面
・サイズ ： 800 × 600 ピクセル以上
・色 ： High-Color（24 ビット）以上
上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●「この CD-ROM について」と「らくらく無線スタート」「サテライトマネージャ」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
・Windows® ： Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け

⚠警　告

こんなときには

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
  社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

⚠警 告

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤作動するなどの原因となることがあります。
また、医療電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

- 電気製品・ AV ・ OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

- 動作中に外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、PC カードコネクタの接続部には絶対に触れないでください。

お願い

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずパソコンから取り外してください。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
ただし、PC カードコネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。

- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関する注意

- 最大 54Mbps（規格値）や最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。

- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。

- IEEE802.11a の通信モードは、屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
●不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 端末や無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 ご使用にあたって

「Aterm WL54AG」は、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g に対応したPC カードタイプの無線 LAN カードです。Aterm WL54AG は、次のようにご利用になれます。

■ 無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご利用の場合

● WL54AG に対応した無線 LAN アクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに装着して、無線 LAN アクセスポイント（親機）でワイヤレス LAN 機能を使用可能にします。装着できる無線 LAN アクセスポイント（親機）は、別紙に示すお問い合わせ先のホームページなどでご確認ください。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご利用の場合は、添付の CD-ROM をインストールする必要はありません。添付の CD-ROM は、本商品をパソコンに装着してご利用になる場合のみ使用します。

■ 無線 LAN 端末（子機）としてご利用の場合

● IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g に対応している無線 LAN アクセスポイント（親機）に、離れたところからワイヤレスで通信できます。

● CardBus 規格に準拠した PC カードスロット（TYPE Ⅱ）を搭載し、対応 OS が搭載されている PC-AT 互換機でご使用になれます。
なお、WL54AG を利用できるのは通信相手のワイヤレス機器が、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g に対応している場合です。対応していない機器との通信はできません。

● WL54AG を無線 LAN 端末（子機）としてご利用いただく場合の対応 OS は Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional/Me（日本語版）のみです。

> ※無線 LAN アクセスポイント（親機）として WR6600H、WR7800H、WR7600H をご使用になる場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付されている CD-ROM（ユーティリティ）および取扱説明書を参照して設定してください。

ご使用方法にあわせて次のように参照してください。

「2　セットを確認する」（☛P16）

↓

「3　各部の名前とはたらき」（☛P17）

↓

「4　WL54AG を無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着して使用する」（☛P18）

「5　WL54AG を無線 LAN 端末（子機）として使用する」
→パソコンとの接続（サテライトマネージャでドライバをインストールする）（☛P39）
→パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）（☛P45）

↓

「6　無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」
→らくらく無線スタートで設定する（☛P56）
→サテライトマネージャで設定する（☛P59）
→ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合）で設定する（☛P69）

お知らせ

●IEEE802.11a の通信と IEEE802.11g+IEEE802.11b 通信、IEEE802.11g 通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本商品は技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
  2.4GHz 帯使用の IEEE802.11b、IEEE802.11g および Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OF-DM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4	DS/OF	4
■	■	■

2.4　:2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF :DS-SS 方式および OF-DM 方式を示す
4　:想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

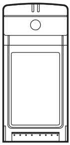
（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

2 セットを確認する

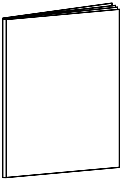
設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途添付のお問い合わせ先にご連絡ください。

●構成品

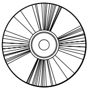
□ WL54AG



□ご使用になる前に（本書）



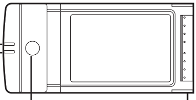
□ CD-ROM（ユーティリティ集）



※本商品をパソコンに装着してご利用になる場合のみ使用します。
本商品を無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご利用になる場合は、インストールする必要はありません。

3 各部の名前とはたらき

WL54AG



① PC カードコネクタ

パソコンの PC カードスロットまたは無線 LAN アクセスポイント（親機）の拡張スロットに取り付けて接続します。

②外部アンテナコネクタ

別売りのワイヤレス外部アンテナ（WL54AG 用）（PA-WL/ANT3）を接続するときに使用します。使用するときは、キャップを外してください。

③ PWR ランプ／ ACT ランプ

PWR、ACT ランプのつきかた	WL54AG の状態
2 つのランプが同時に点滅	通信中 （通信量により点滅速度が変化する）
2 つのランプが同時に遅く点滅	通信待機中 （通信可能状態であるが、データ送受信が行われていない）
2 つのランプが交互に遅く点滅	無線 LAN アクセスポイント（親機）をサーチ中（無線接続が確立されていない）※
PWR ランプのみ点滅 （ACT ランプ消灯）	電源が入っていないとき （無線接続設定がされていないとき、またはドライバ無効の状態）

※無線接続が確立していない場合は、「5 WL54AG を無線 LAN 端末（子機）として使用する」（☛P38）、「6　無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」（☛P56）を参照して無線接続を確立してください。

お願い

- WL54AG（無線 LAN カード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernet ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。
- PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。
- IEEE802.11a の通信と IEEE802.11g+IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

お知らせ

- WL54AG は、対応の無線 LAN アクセスポイント（親機）の拡張スロットへ装着することで、無線 LAN アクセスポイント（親機）でワイヤレス LAN 機能を利用することができます。

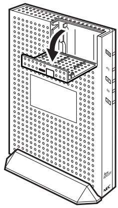
4 WL54AGを無線LANアクセスポイント（親機）に装着して使用する

ここでは、WL54AGを無線LANアクセスポイント（親機）に装着して使用する場合を説明しています。
WL54AGを無線LAN端末（子機）として使用する場合は「5　WL54AGを無線LAN端末（子機）として使用する」（☛P38）へ進みます。

装着のしかた

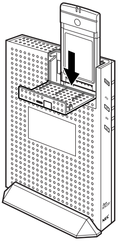
装着する際は、無線LANアクセスポイント（親機）の電源を切った状態で取り付けてください。
※装置図は一例です。

1　無線LANアクセスポイント（親機）の側面の開閉カバーを開く



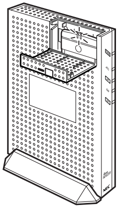
2　WL54AGを拡張カードスロットに装着する

奥までしっかり装着してください。

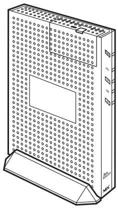


3　無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れる

WL54AGのACTランプ、PWRランプが同時に点滅することを確認してください。



4　開閉カバーを閉める



本商品を無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご利用になる場合は、添付の CD-ROM をインストールする必要はありません。

無線LAN端末(子機)から接続する

ここではWL54AGを無線LANアクセスポイント（親機）に装着した場合の、無線LAN端末（子機）から無線LANアクセスポイント（親機）への接続方法について記載しています。

Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）の場合は、P22へ進んでください。
※についてはP23を参照してください。

右記以外のAtermシリーズ無線LAN端末（子機）

（※1）

接続する無線LANアクセスポイント（親機）がらくらく無線スタート対応機種かどうか確認します。（※2）

- らくらく無線スタート対応の無線LANアクセスポイント（親機）
- らくらく無線スタート未対応の無線LANアクセスポイント（親機）
  - 右記以外
  - WL300NE/WL54SE2/WL54SE/WL54TE

無線LANアクセスポイント（親機）にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線LAN端末（子機）のMACアドレスを登録しておいてください。「MACアドレスフィルタリング機能」（☛P35）（※3）（※4）

設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定を行います。

「らくらく無線スタート」で設定してください。
WL54AGの場合
「らくらく無線スタートで設定する」（☛P56）参照
WL54AG以外の場合
無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照

無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する

！

下記の無線 LAN 端末（子機）では、設定の際に現在無線 LAN 端末（子機）側で使用している設定ツール（サテライトマネージャ等）とドライバが必要です。アンインストール（削除）はしないでください。いったん削除してしまった場合は、ホームページ AtermStation にて最新版をインストールすることができます。

WL11C2

WL11CA/WL11CB

WL11C/WL11U/WL11U(W)

WL11E2

無線 LAN 端末（子機）の設定にあわせて無線 LAN アクセスポイント（親機）側の設定を変更します。

無線 LAN アクセスポイント（親機）に MAC アドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを登録しておいてください。「MAC アドレスフィルタリング機能」（☛P35）（※ 3）（※ 4）

クイック設定 Web で無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定を 64bitWEP に変更します。

クイック設定 Web で無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを 16 進数に変更します。

無線 LAN 端末(子機)を使用するパソコンの OS を確認します。(※ 5)

Windows® XP 以外の OS の場合
(Windows Vista®/Windows® 7は非対応)

Windows® XP

無線 LAN 端末（子機）側の CD-ROM からドライバとユーティリティ（サテライトマネージャ）をインストールし、無線 LAN 端末（子機）側のユーティリティ（サテライトマネージャ）で設定してください。

Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定で設定してください。

無線 LAN 端末(子機)のクイック設定 Web で設定してください。

無線 LAN アクセスポイント (親機) の設定にあわせてネットワーク名 (SSID)、暗号化の設定を行ってください。
(※ 6)

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）の場合

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）

↓

無線LAN端末（子機）側に添付の専用ドライバとユーティリティをインストールしてください。

無線LAN内蔵パソコン

↓

無線LAN端末（子機）の設定にあわせて無線LANアクセスポイント（親機）側の設定を変更します。

無線LANアクセスポイント（親機）にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線LAN端末（子機）の情報を登録しておいてください。「MACアドレスフィルタリング機能」（☛P35）（※3）

↓

無線LAN端末（子機）が、無線LANアクセスポイント（親機）と同じ無線動作モード、暗号化モードをサポートしていない場合は、クイック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更してください。

無線LANアクセスポイント（親機）の初期値については無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照してください。

↓

設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定を行います。
無線LANアクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名（SSID）、暗号化の設定を行ってください。（※6）

ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista® および Windows® 7/XPの場合）または、無線LAN端末(子機)側に添付の専用ユーティリティで設定してください。

↓

無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する

※ 1　WL54AG、WL54SC、WL54SU、WL54TU、WL54TE を追加で無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合は本商品に添付の CD-ROM を使用して設定してください。

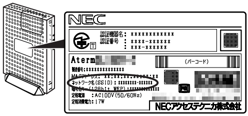
※ 2　無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（「つなぎかたガイド」など）を参照して確認してください。

※ 3　すでにインターネット接続が可能な場合、MAC アドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。

※ 4　WL54SE、WL54TE、WL11E2 の場合は WL54SE、WL54TE、WL11E2 に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスも登録してください。

※ 5　使用できる OS は接続する無線 LAN 端末（子機）によって異なります。

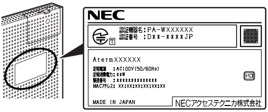
※ 6　無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は「WARPSTAR − XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

無線 LAN 内蔵パソコンから接続する場合

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンと無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線通信を確立する設定を行います。
ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。

● Windows Vista® および Windows® 7/XP で接続する場合
　→以下の手順で設定してください。
　①パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプの点灯などワイヤレス機能が ON になっていることを確認する
　　・点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
　　・それぞれのワイヤレススイッチの ON ／ OFF のしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。
　②「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合）」（☛P69）を参照して設定する

● AirMac 対応のパソコンで接続する場合
　→「AirMac 対応のパソコンで接続する場合」（☛P25）を参照してください。

●上記以外のパソコンで接続する場合
　→パソコンに添付の取扱説明書を参照してください。

※本商品を無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着して、無線 LAN 内蔵パソコンから接続する場合は、添付の CD-ROM をインストールする必要はありません。

お知らせ

●Windows Vista® または Windows® 7/XP（Service Pack2 または 3）のパソコンをご使用の場合は、らくらく無線スタート EX で設定することができます。
詳細は、別紙に示すお問い合わせ先のホームページを参照してください。

お願い

●設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。設定方法の詳細については、パソコン等のメーカーにお問い合わせください。
●パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線動作モードを変更する必要があります。
　・IEEE802.11b、IEEE802.11g の無線規格に対応している場合
　　→ IEEE802.11g+IEEE802.11b モード（初期値）
　・IEEE802.11a の無線規格に対応している場合
　　→ IEEE802.11a 専用通信モード

AirMac 対応のパソコンで接続する場合

画面表示は Mac OS のバージョンなどにより、変わることがあります。
ここでは Mac OS X（v10.4 Tiger）の場合を例に説明しています。

1 アップルメニューの［システム環境設定］－［ネットワーク］アイコンをクリックする

2 ［表示］を［AirMac］にして、［AirMac］タブをクリックする

3 ［デフォルトの接続先］を［優先するネットワーク］にする

4 + をクリックする

5 ［ネットワーク名］の ▼ をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

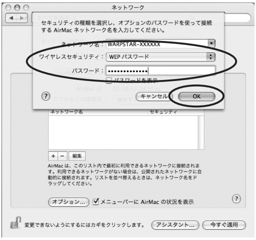
※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または、側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。



お知らせ

●ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が有効となっている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されません。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）は無効にしてください。

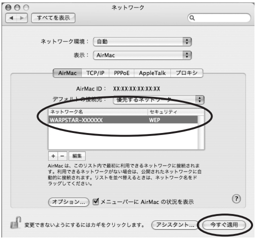
6 ［ワイヤレスセキュリティ］の をクリックして［WEP パスワード］を選択し、［パスワード］で無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力して、［OK］をクリックする



（次ページに続く）

7 ［今すぐ適用］をクリックする

※ 他のネットワーク名がリストの一番上に表示されている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をリストの一番上にドラッグしてから、［今すぐ適用］をクリックしてください。



8 画面を閉じる

お知らせ

Mac OS 9.2.2 をご利用の場合

●Mac OS 9.2.2 のバージョンをご使用の場合は、次の手順で設定します。

① AirMac に接続した Macintosh を起動する

②アップルメニューから[コントロールパネル]−[TCP/IP]を選択する

③経由先を［Air Mac］、設定方法を［DHCP サーバを参照]に変更する

※ AirMac 対応でないパソコンの場合は、経由先で［Air Mac］を選択できません。

④［TCP/IP］の画面を閉じる

⑤［保存］をクリックする

⑥アップルメニューから[Air Mac］を選択する

⑦［非公開ネットワークの選択を許可する］のチェックを入れる

⑧［ネットワークの選択］のプルダウンメニューから、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択して、パスワードを入力する

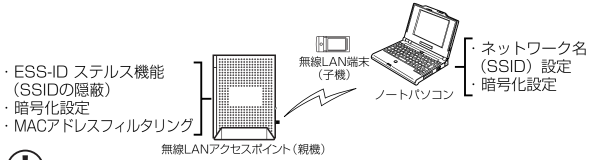
※ネットワークの選択リストに無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）がない場合は、［その他・・］を選択して、［名前］に無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID)、［パスワード］に暗号化キーを入力します。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または、側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

⑨［OK］をクリックして画面を閉じる

無線 LAN のセキュリティ対策をする

ここでは WL54AG を無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着した場合の無線 LAN アクセスポイント（親機）側のセキュリティについて説明しています。
無線 LAN アクセスポイント（親機）には、他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線暗号化機能、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）、MAC アドレスフィルタリング機能を搭載しています。また、無線 LAN 端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線 LAN 端末（子機）についてセキュリティの設定を行う必要があります。
必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。



!

WR7600H、WL7600AP、BL170HV、DL180V-C を無線 LAN アクセスポイント（親機）としてご利用になる場合は設定方法が異なりますので、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書を参照してください。

? *セキュリティ対策を行うことの重要性について*

無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティ対策を行わない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

無線暗号化機能：
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することで、暗号化キーを知らない第三者による傍受や盗聴の対策を行います。

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）：
無線 LAN アクセスポイント（親機）が第三者からのネットワーク名（SSID）の参照に応答しないようにすることで、不正アクセスの対策を行います。

MAC アドレスフィルタリング機能：
特定の端末のみを無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録することで、登録した端末以外からの不正アクセスの対策を行います。

（次ページに続く）

お願い

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側の設定を Macintosh パソコンから行う場合は、P25 を参照し、無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信を確立してから設定してください。なお、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）、暗号化設定（AES、TKIP、152bitWEP）は、Macintosh ではご使用になれません。

■無線暗号化を設定する

任意の文字列（暗号化キー）を無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

ここでは、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の設定を別々に行う場合を説明しています。サテライトマネージャを利用して無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の設定を同時に行うこともできます。（☛P59）

＜暗号化方式について＞

● WEP（Wired Equivalent Privacy）
IEEE802.11で定められた暗号化方式。
設定した暗号化キーが一致した場合のみ通信できるようになります。

● TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）
Wi-Fi Allianceの新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。
パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEPよりさらに強固なガードを実現します。

● AES（Advanced Encryption Standard）
米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
WEPよりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

●暗号化の設定は必ず無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）で同じ設定にしてください。（☛P30、P61）
●複数の無線LAN端末（子機）を使用する場合、すべての無線LAN端末（子機）に無線アクセスポイントと同じ暗号化キーを設定してください。
●1つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1つです。混在はできません。また、AES、TKIPの暗号化方式をご利用になるには、対応した無線LAN端末（子機）が必要です。

＜暗号化の設定（無線 LAN アクセスポイント（親機））＞

1 **パソコンを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の「つなぎかたガイド」などを参照して入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線 LAN 側設定］を選択する**

5 **［暗号化］の項目で設定する**

■暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する
②暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。
※WEP（152bit）は、Windows Vista®/ Windows® 7ではご利用になれません。
③［指定方法］から暗号化キーの種類を［英数字］または［16 進数］のどちらかを選択する
※［英数字］→英数字（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z）の組み合わせで暗号を作成します。
［16 進］→ 16 進（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）の組み合わせで暗号を作成します。
※指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。



※画面は例です。
接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）によって表示が異なる場合があります。

④［使用する暗号化キー番号］を［暗号化キー 1 番～ 4 番］で選択する
⑤指定した番号（1 番～ 4 番）に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

■暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

① [暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

② [WPA 暗号化キーを入力する］

暗号化キーは、8～63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

暗号化キーは半角で入力します。

【8～63 桁の場合】

英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>"</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>'</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】

16 進数（0～9、a～f、A～F）

③ [暗号化更新時間］で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、0（更新なし）、1～1440 分の間で設定できます。

6　［設定］をクリックする

7　［登録］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。（暗号化キーを設定していない無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなります。無線 LAN 端末（子機）の暗号化の設定を行ってください。）

＜暗号化の設定（無線 LAN 端末（子機））＞

● **WL54AG(無線 LAN カード）をご利用の場合**

・サテライトマネージャで設定する場合

→「サテライトマネージャで設定する」（☛P59）を参照してください。

・ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP）で設定する場合

→「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合)」（☛P69）を参照してください。

● **無線 LAN 内蔵パソコンをご利用の場合**

・ Windows Vista® および Windows® 7/XP でご利用の場合

→以下の手順で設定してください。

①パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプの点灯などワイヤレス機能が ON になっていることを確認する

※点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。

※それぞれのワイヤレススイッチの ON ／ OFF のしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

②「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合)」（☛P69）を参照して設定する

・ Windows Vista® および Windows® 7/XP 以外の OS でご利用の場合

→パソコンに添付の取扱説明書を参照してください。

■ ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID とも呼びます）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）独自の機能です。無線 LAN 端末（子機）側では、Aterm シリーズ無線 LAN カードに添付されているユーティリティ（サテライトマネージャ）をお使いください。無線 LAN 内蔵パソコンやその他の無線 LAN カードなどでは動作しない場合があります。

1. **パソコンを起動する**

2. **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

   無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
   （工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
   例： http://192.168.0.1/

3. **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする**

   ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
   管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の「つなぎかたガイド」などを参照して入力してください。

4. **[詳細設定] の ▼ をクリックし、[無線 LAN 側設定] を選択する**

5. **[ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）] を [使用する] に ☑ する**



※画面は例です。
接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）によって表示が異なる場合があります。

（次ページに続く）

6 ［設定］をクリックする



7 ［登録］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

■MAC アドレスフィルタリング機能

MACアドレスが登録された無線LAN端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MACアドレスが登録されていない無線LAN端末（子機）からLANやインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

＜クイック設定Webで設定する＞

1. **パソコンを起動する**

2. **WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

   無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
   （工場出荷時は192.168.0.1です。）
   例：http://192.168.0.1/

3. **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする**

   ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
   管理者パスワードは、無線LANアクセスポイント（親機）の「つなぎかたガイド」等を参照して入力してください。

4. **[詳細設定]の ▼ をクリックし、[MACアドレスフィルタリング]を選択する**

（次ページに続く）

5 ［接続を許可するMACアドレス編集］欄で設定する

①エントリ番号を選択する
②指定方法を選択する
　手動設定：MACアドレスに直接無線接続を許可する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力します。
　選択設定：MACアドレス（アクセス履歴）から選択し登録をします。
③手動設定の場合は、登録する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力する
　MACアドレスは2文字ずつコロンで区切って入力してください。
　例）MACアドレスがxx-xx-xx-xx-xx-xxの場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xxと入力します。
　無線LAN端末（子機）のMACアドレスは無線LAN端末（子機）に記載されています。
　選択設定の場合は、「アクセス履歴」から登録する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを選択します。



※画面は例です。
　接続する無線LANアクセスポイント（親機）によって表示が異なる場合があります。

6 ［編集］をクリックする

続けて設定する場合は、手順5に戻ってエントリ番号を変えて設定してください。

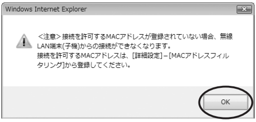
7 ［最新状態に更新］をクリックする

設定内容に間違いがないか確認してください。

8 ［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線LAN側設定］で、［MACアドレスフィルタリング機能］を［使用する］に ☑ する



9 ［OK］をクリックする



10 ［設定］をクリックする

11 ［登録］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

! *WL54SE を使用している場合*

無線 LAN アクセスポイント（親機）で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、WL54SE の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

< WL54SE の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合＞

WL54SE の底面に記載されている無線の MAC アドレスを登録することで無線接続する WL54SE を制限できます。

< WL54SE の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合＞

WL54SE の底面に記載されている無線の MAC アドレスと WL54SE に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→WL54SE では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。
このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、LINK ランプが消灯し、WL54SE に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。（WL54SE の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）
なお、既に LINK ランプが点灯している WL54SE に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できてしまいます。

! *WL54TE を使用している場合*

無線 LAN アクセスポイント（親機）で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、WL54TE のクローンモードによって次のように設定してください。

※ WL54TE は、最新のファームウェアに更新してご利用ください。

< WL54TE のクローンモードが「WL54TE」の場合＞

WL54TE の側面に記載されている無線の MAC アドレスを登録することで無線接続する WL54TE を制限できます。

< WL54TE のクローンモードが「PC」の場合＞

WL54TE の側面に記載されている無線の MAC アドレスと WL54TE に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→WL54TE では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。
このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WL54TE に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。
（WL54TE の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）なお、MAC アドレスフィルタに登録済みの端末が最初にアクセスすると、MAC アドレスフィルタに未登録の端末でも無線接続できてしまいます。

5 WL54AGを無線LAN端末（子機）として使用する

ここでは、WL54AGを無線LAN端末（子機）として使用するための接続設定を次の手順で説明しています。ご利用の環境にあわせて設定してください。

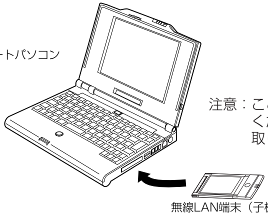
①パソコンとの接続（ドライバのインストール）

- ・サテライトマネージャでインストールする場合（☛P39）
- ・ドライバを手動でインストールする場合（☛P45）

②設定する

- ・らくらく無線スタートで設定する場合※（☛P56）
- ・サテライトマネージャで設定する場合（☛P59）
- ・ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® およびWindows® 7/XPの場合）で設定する場合（☛P69）

※ご利用の無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線LANアクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（「つなぎかたガイド」など）を参照してください。



WL54AGを無線LAN端末（子機）としてご利用になれるOSは、Windows Vista® およびWindows® 7/XP/2000 Professional/Meのみです。Macintoshではご利用になれません。

WL54AG（無線LANカード）は、CardBus規格に準拠したPCカードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

お願い

- ●WL54AGはパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- ●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとWL54AGのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。
- ●無線LAN内蔵パソコンにWL54AG（無線LANカード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
- ●WL54AGと無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

パソコンとの接続（サテライトマネージャでドライバをインストールする）

サテライトマネージャをインストールする

WL54AGを設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。

1 Windows® を起動する

Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブにセットする

［自動再生］画面が表示された場合は、［rundll32.exeの実行］をクリックします。
「このCD-ROMについて」（HTMLファイル）が表示されます。

「このCD-ROMについて」が表示されないときは（☛P5）

3 表示された内容を確認し、「ユーティリティのインストールについて」にて、ご利用のOSに適した「こちらをクリックしてください。」の文字をクリックする

＜Windows® 7（32ビット版）の場合＞
→「Windows(R) 7（32bit版）をお使いの方はこちらをクリックしてください。」をクリックします。

＜Windows® 7（64ビット版）の場合＞
→「Windows(R) 7（64bit版）をお使いの方はこちらをクリックしてください。」をクリックします。

＜Windows Vista® の場合＞
→「Windows Vista(R)をお使いの方はこちらをクリックしてください。」をクリックします。

＜Windows® XP/2000 Professional/Meの場合＞
→「Windows(R) XP/2000 Professional/Meをお使いの方はこちらをクリックしてください。」をクリックします。

4 表示されたセットアップアイコンをダブルクリックする

＜Windows® 7（32ビット版）の場合＞
→［wr_7_32_setup.exe］をダブルクリックします。

＜Windows® 7（64ビット版）の場合＞
→［wr_7_64_setup.exe］をダブルクリックします。

＜Windows Vista® の場合＞
→［wr_vista_setup.exe］をダブルクリックします。

＜Windows® XP/2000 Professional/Meの場合＞
→［wr_xp_setup.exe］をダブルクリックします。

5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする

ユーザーアカウント制御の画面は、タスクバーに点滅表示される場合があります。

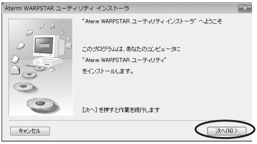
（次ページに続く）

6 ［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］画面で［次へ］をクリックする

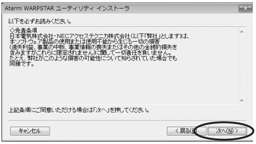
「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面が表示されないときは（☛P5）



7 ［次へ］をクリックする



8 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする



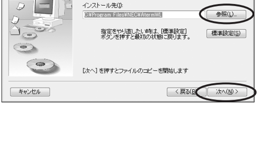
9 次の画面が表示された場合は、［無線カード/無線 USB スティック］を選択し、無線 LAN アクセスポイント（親機）の「らくらく無線スタート」対応／非対応により［らくらく無線スタートで無線 LAN 設定を行う］のチェック（する／外す）を選択して、［次へ］をクリックする

Windows Vista®/Windows® 7 の場合は、この画面は表示されません。手順 10 にお進みください。



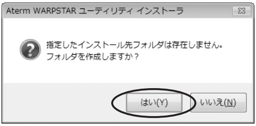
10 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

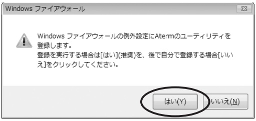


11 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする

インストールが開始されます。

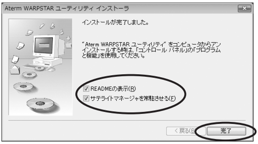


12 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



13 [README の表示] と [サテライトマネージャを常駐させる] にチェックが入っている（☑）ことを確認し、[完了] をクリックする

サテライトマネージャがインストールされました。



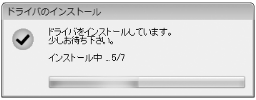
14 README をよく読み、[README] 画面を閉じる

インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。

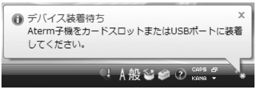
15 「この CD-ROM について」（HTML ファイル）を閉じる

16 未インストール状態のドライバが自動的にインストールされる

Windows® XP/2000 Professional/Me の場合は、この自動インストールはありません。手順 20（☛P42）にお進みください。



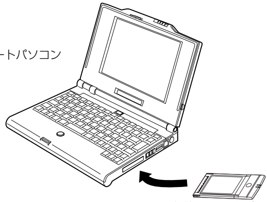
17 通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する



（次ページに続く）

18 WL54AG（無線LANカード）をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。



19 通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する

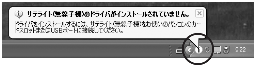


以上でWindows Vista®/Windows® 7でのインストールは完了です。無線LAN端末（子機）の無線設定手順に進みます。

・らくらく無線スタートで設定する場合
　→「らくらく無線スタートで設定する」（☛P56）

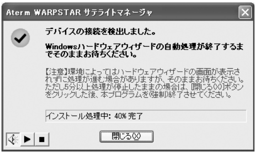
・サテライトマネージャで設定する場合
　→「サテライトマネージャで設定する」（☛P59）

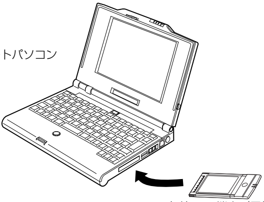
20 Windows®XP/2000 Professional/Meの場合は、通知領域（タスクトレイ）にサテライトマネージャが表示されることを確認する



21 WL54AG（無線LANカード）をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。





以上でWindows® XP/2000 Professional/Meでのインストールは完了です。
「サテライトマネージャをインストールする」手順9（☛P40）での選択によって次のように進みます。

・無線LANアクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応している場合
　→「らくらく無線スタートで設定する」（☛P56）

・無線LANアクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応していない場合
　→「サテライトマネージャで設定する」（☛P59）

お知らせ

●サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。（「Windows® XPでサテライトマネージャを使用して設定を行った場合」（☛P70））

ドライバをアンインストール（削除）するには

WL54AG のドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンをWL54AGのドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL54AGのドライバをアンインストールします。

※Aterm WARPSTAR ユーティリティがインストールされている必要があります。インストール方法については「サテライトマネージャをインストールする」（☛P39）を参照してください。

■ Windows Vista®/Windows® 7 の場合

次の手順でドライバとユーティリティを削除します。

※ユーティリティも削除されますので、ご注意ください。

①通知領域（タスクトレイ）にある［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックし、［終了］を選択する

② WL54AG を取り外す（☛P55）

③［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバとユーティリティの削除］をクリックする

④ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする

⑤画面の指示に従って、アンインストールを行う

■ Windows® XP/2000 Professional/Me の場合

次の手順でドライバを削除します。

①通知領域（タスクトレイ）にある［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックし、［終了］を選択する

② WL54AG を取り外す（☛P55）

③［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバのアンインストール］をクリックする

④［OK］をクリックする

⑤アンインストールするドライバを選択し、［実行］をクリックする

⑥画面の指示に従ってアンインストールを行う



パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）

WL54AG のドライバを手動でインストールして設定を行う場合は、次の手順で設定を行ってください。

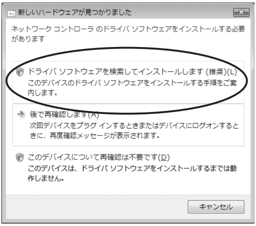
■ Windows Vista® の場合

1 **Windows Vista® を起動する**

ここでは、まだ添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットしないでください。

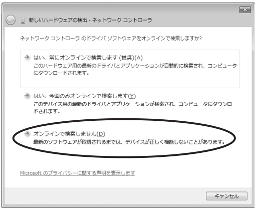
2 **パソコンに WL54AG を取り付ける**

3 **［ドライバソフトウェアを検索してインストールします］をクリックする**



4 **ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする**

5 **次の画面が表示された場合は、［オンラインで検索しません］をクリックする**



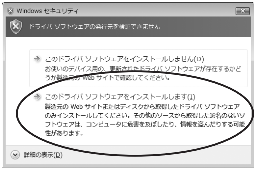
（次ページに続く）

6 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

しばらくして「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が表示された場合は、画面を閉じてから手順 7 に進みます。また、「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が表示されない場合も、手順 7 に進みます。



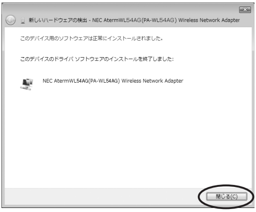
7 [このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックする



8 ドライバがインストールされる



9 インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする



10 CD-ROM を取り出す

11 WL54AGのドライバのインストールを確認する

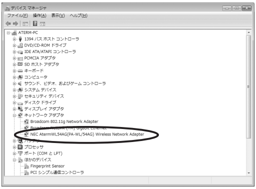
①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コンピュータ］をクリックする
②［システムのプロパティ］をクリックする



③［タスク］欄の［デバイスマネージャ］をクリックする



④ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥［NEC Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する



無線LANアクセスポイント（親機）に接続するには、「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® およびWindows® 7/XPの場合）」（☛P69）で設定します。

■ Windows® 7の場合

1 Windows® 7を起動する

2 パソコンにWL54AGを取り付ける

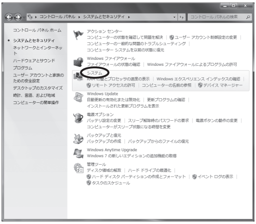
※通知領域（タスクトレイ）上に「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールできませんでした。」というバルーンが表示される場合があります。

3 [スタート]（Windows®のロゴボタン）－[コントロールパネル]をクリックする

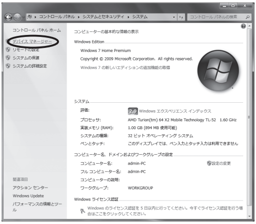
4 [システムとセキュリティ]をクリックする



5 [システム]をクリックする

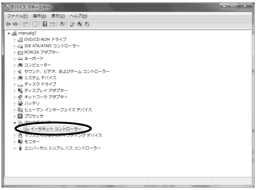


6 ［デバイスマネージャー］をクリックする

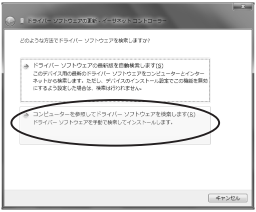


7 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

8 ［ほかのデバイス］より［イーサネットコントローラー］を右クリックし、［ドライバーソフトウェアの更新］をクリックする



9 ［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックする

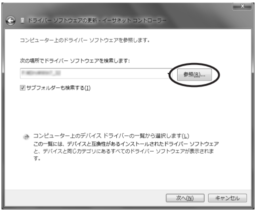


10 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

※「自動再生」画面が表示された場合は、［x］をクリックして画面を閉じてください。

（次ページに続く）

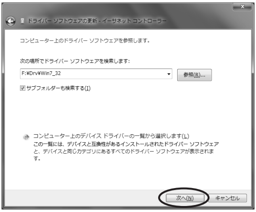
11 ［参照］をクリックする



12 CD-ROM ドライブから［Drv］－［Win7_32］を選択し、［OK］をクリックする

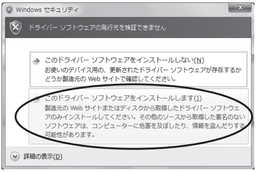
Windows® 7の64ビット版をご利用の場合は、［Drv］－［Win7_64］を選択します。

13 ［次へ］をクリックする

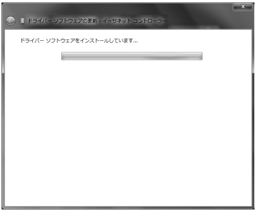


14 ［このドライバーソフトウェアをインストールします］をクリックする

※「自動再生」画面が表示された場合は、 x をクリックして画面を閉じてください。



15 ドライバがインストールされる



16 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックする



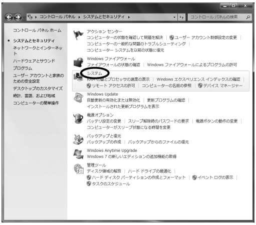
17 CD-ROM を取り出す

18 WL54AG のドライバのインストールを確認する

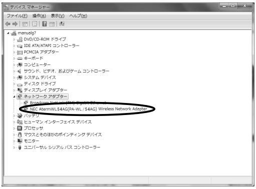
①[スタート]（Windows ® のロゴボタン）－[コントロールパネル] をクリックする
②[システムとセキュリティ] をクリックする



③[システム] をクリックする
④タスク欄の [デバイスマネージャー] をクリックする
⑤ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



⑥[ネットワークアダプター] をダブルクリックする
⑦[NEC Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する



無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するには、「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista ® および Windows ® 7/XP の場合）」（☛P69）で設定します。

■ Windows® XP/2000 Professional/Me の場合

ここでは Windows® XP を例に説明します。Windows® 2000 Professional/Me ではドライバが収録されている CD-ROM のフォルダが異なりますので手順 7 に注意してください。

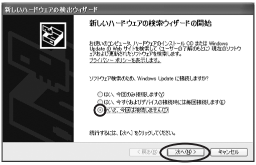
1 Windows® XP を起動する

2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

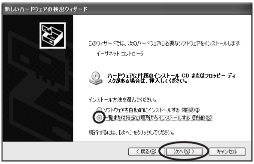
しばらくして「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が表示された場合は、画面を閉じてから手順 3 に進みます。また、「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が表示されない場合も、手順 3 に進みます。

3 パソコンに WL54AG を取り付ける

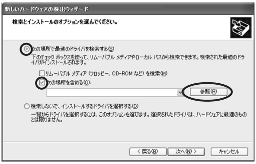
4 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で［ソフトウェア検索のため Windows Update に接続しますか？］の画面が表示された場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックしてください。



5 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックする



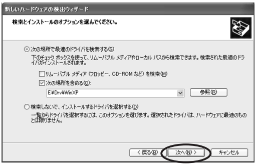
6 ［次の場所で最適のドライバを検索する］と［次の場所を含める］にチェックし、［参照］をクリックする



7 CD-ROMドライブから［Drv］－［WinXP］を選択し、［OK］をクリックする

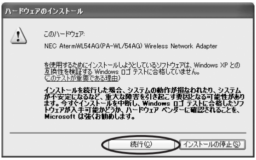
Windows® Meの場合、［Drv］－［WinMe］を選択します。
Windows® 2000 Professionalの場合、［Drv］－［Win2000］を選択します。

8 ［次へ］をクリックする

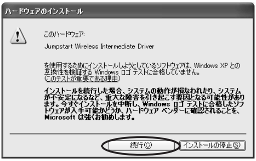


(この画面は、CD-ROMドライブ名がEの場合です)

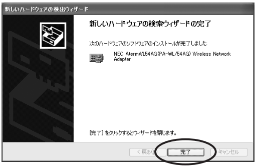
9 次の画面が表示された場合は［続行］をクリックする



10 次の画面が表示された場合は［続行］をクリックする



11 インストールが完了したら、［完了］をクリックする

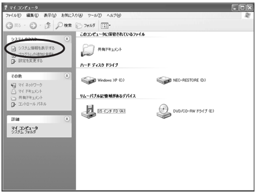


12 CD-ROMを取り出す

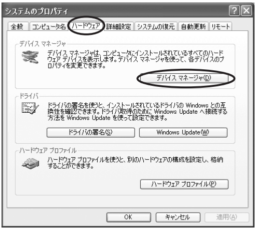
（次ページに続く）

13 WL54AG ドライバのインストールを確認する

①［スタート］－［マイコンピュータ］－［システム情報を表示する］をクリックする

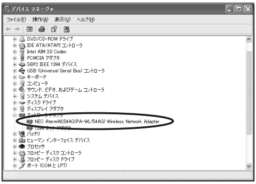


②［ハードウェア］タブをクリックする
③［デバイスマネージャ］をクリックする



※画面は、Windows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。
Windows® のアップデート状況によって［デバイスマネージャ］ボタンの場所が異なります。

④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する



無線LANアクセスポイント（親機）に接続するには、「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合）」（☛P69）で設定します。

こんなときは

手順12で［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］の頭に黄色い ! が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから（☛P44）、インストールをやり直してください。
手順12で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。
［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］以外のネットワークアダプタは、［操作］－［プロパティ］をクリックして「全般」タブの［デバイスの使用状況］で［このデバイスを使わない（無効）］をチェックして無効にしてください。

WL54AG の取り扱いについて

■取り付けるとき

・ WL54AGのコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

■取り外すとき

・WL54AGを取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。

①タスクトレイの［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックする

②[NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapterを安全に取り外します］をクリックする

※Windows® 7の場合は、［AtermWL54AGの取り出し］をクリックします。

※Windows® 2000 Professional/Meの場合は［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG) Wireless Network Adapterの停止］をクリックします。

③「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」が表示されたら[OK]をクリックして画面を閉じる

※Windows® 7/XP/2000 Professional/Meの場合は「 'NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter' は（コンピューターから）安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックして画面を閉じます。（Windows® XPの場合は  をクリックして画面を閉じます。）

④WL54AGを取り外す

6 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

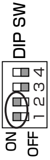
無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定を行います。

無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては「らくらく無線スタート」で設定することができます。ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（つなぎかたガイドなど）を参照してください。

- 無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応している場合
  →らくらく無線スタートで設定する（☛ 下記）
- 無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応していない場合
  →サテライトマネージャで設定する（☛P59）
  →ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista ®および Windows ® 7/XP の場合）で設定する（☛P69）

らくらく無線スタートで設定する

無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応した WD600 シリーズの場合は



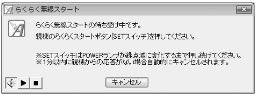
WD600 シリーズで「らくらく無線スタート」設定を行う場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の開閉カバーを開け、ディップスイッチの 1、2 を「ON」側にしてから、下記手順を行ってください。

- WD600 シリーズのディップスイッチがすべて「OFF」側の状態でらくらくスタートボタンを押すと、初期化準備状態となり、「らくらく無線スタート」設定は行えませんので、ご注意ください。
- ディップスイッチは、細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で根元に力を加えて、倒してください。
- 「らくらく無線スタート」設定が完了したら、ディップスイッチは元に戻してください。

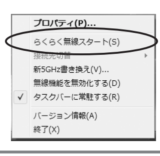
※ WD600 シリーズはプロバイダ／接続事業者からのご購入またはレンタルによるご提供の商品です。

1 次の画面が表示されることを確認する

※1 分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

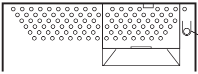


らくらく無線スタートが起動しない場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［らくらく無線スタート］をクリックします。

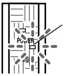


2 無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを押し、前面のPOWERランプが緑点滅になったら離す

※無線LANアクセスポイント（親機）によっては、POWERランプは電源ランプと表示されている場合があります。また、らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。



※装置図は一例です。



※装置図は一例です。

POWERランプが約10秒間赤点灯した場合は

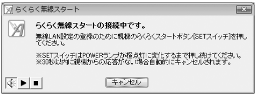
らくらく無線スタートが失敗しています。
無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化が設定されていることと、MACアドレスフィルタリングの設定で接続できる無線LAN端末（子機）の登録がいっぱいになっていないかを確認してください。（☛P35）
確認後、再度手順1（☛P56）から設定を行ってください。

3 らくらく無線スタートの準備ができているか確認する

※30秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

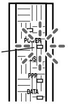
WL54AG（無線LANカード）を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。



無線LANアクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面のPOWERランプが橙点滅します。



※装置図は一例です。

どちらか片方だけが上記の状態になっている場合は

他の無線LANアクセスポイント（親機）または無線LAN端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。
WL54AG（無線LANカード）を接続したパソコンで［キャンセル］をクリックし、無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順1（☛P56）から設定をやり直してください。

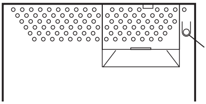
どちらも上記の状態にならない場合は

「らくらく無線スタート」がご利用になれません。その場合は、サテライトマネージャで無線設定を行います。サテライトマネージャでの設定のしかたについては、「サテライトマネージャで設定する」（☛P59）を参照してください。

（次ページに続く）

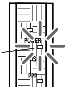
4 無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを押し、手順5の前面のPOWERランプが橙点灯状態になったら離す

※らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。



※装置図は一例です。

5 無線設定が完了していることを確認する

WL54AG（無線LANカード）を接続したパソコン	無線LANアクセスポイント（親機）
次の画面が表示されることを確認します。  	前面のPOWERランプが約10秒間橙点灯することを確認します。  ※装置図は一例です。 **!** 失敗した場合は、POWERランプが約10秒間赤点灯します。手順1（☛P56）の (!) から設定をやり直してください。 ※前面のPOWERランプは、約10秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

(!) らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

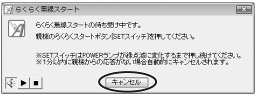
- 無線LANアクセスポイント（親機）側に暗号化設定がされていない場合は、らくらく無線スタートでの設定はできません。
- 無線LANアクセスポイント（親機）側で「MACアドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線LAN端末（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタートでの無線設定登録のときに、MACアドレスフィルタリングにも新たに登録されます。ただし、MACアドレスフィルタリングのエントリーが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートは失敗になります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）側で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。

サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WL54AG の無線の通信モードの変更、ネットワーク名（SSID）の変更、無線 LAN の設定をすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも暗号化の設定を行うことをお勧めします。
Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合）」で設定できます。詳しくは、P69 を参照してください。
無線 LAN 端末（子機）間通信（アドホックモード）でお使いになる場合は、P94 を参照してください。

サテライトマネージャで設定する

1　［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［AtermWARPSTAR ユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックしてサテライトマネージャを起動する

> ！
> らくらく無線スタートの待ち受け画面が表示されている場合は、［キャンセル］をクリックしてください。
>
> 
>

> ！
> サテライトマネージャのインストール時に［らくらく無線スタートで無線 LAN 設定を行う］のチェックを外してインストールした場合、手順３の画面がすでに表示されています。その場合は手順４へ進みます。

2　通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する

3　［ネットワーク一覧］タブをクリックする



（次ページに続く）

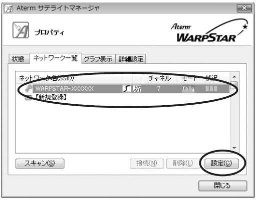
4 接続先のネットワーク名（SSID）をクリックして、［設定］または［親子同時設定］をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

新しく接続先を登録する場合は、［新規登録］をクリックしてください。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）も同時に設定する場合は［親子同時設定］を、無線 LAN 端末（子機）のみ設定する場合は［設定］をクリックします。

※Windows Vista ®/Windows ® 7 の場合は［設定］をクリックします。



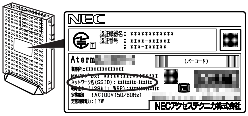
※画面は Windows Vista ® の場合の例です。



※画面は Windows ® XP（Service Pack2）の場合の例です。

!

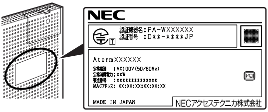
無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては「親子同時設定」が選択できない場合があります。その場合は［設定］をクリックしてください。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

5 無線LANの設定を行う

■無線LAN端末（子機）のみ設定する場合

手順4で［設定］をクリックした場合は、使用する無線LANアクセスポイント（親機）に合わせて次のように設定します。

暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。



［ネットワーク名（SSID）］

無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名（SSID）を入力します。手順4で使用するネットワーク名（SSID）を選択した場合は、そのままにしておきます。

［通信モード］

インフラストラクチャ通信を選択します。

［暗号化モード］

無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

※WEP（152bit）は、Windows ® XP（Service Pack1 ～3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista®/Windows® 7ではご利用いただけません。

※TKIP、AESは、Windows Vista ®またはWindows ® 7/XP（Service Pack2または3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

■無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合

手順4で[親子同時設定]をクリックした場合は次のように設定します。



［ネットワーク名（SSID）］

使用するネットワークの名称を入力します。手順4で使用するネットワーク名（SSID）を選択した場合は、そのままにしておきます。

（次ページに続く）

[無線動作モード]

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

[チャネル番号]

無線 LAN アクセスポイント（親機）と通信するチャネルを選択します。

※ IEEE802.11a モードの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の対応によって選択できるチャネル番号が異なります。詳細は機能詳細ガイドを参照してください。

[暗号化モード]

●暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］で[WEP]を選択する

②暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する

「64bit」(弱) ＜「128bit」＜「152bit」(強）の順で強い暗号がかかります。

※WEP（152bit）は、Windows ® XP（Service Pack1 ～ 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista ® /Windows ® 7 ではご利用いただけません。

③暗号化キーを入力する

英数字は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z で構成されている文字列を指定できます。16 進は 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F で構成されている文字列を指定できます。

無線モードの選び方

802.11a ‥‥電波干渉を受けにくく通信状態も安定しています。無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）を近距離で利用する場合にお勧めです。

802.11g ‥‥壁などの電波の障害物に強いため家の中の広いエリアで使うことができます。

802.11g+b ‥今お持ちの 802.11b 対応の無線 LAN 内蔵パソコンや無線 LAN 機器がそのまま利用できます。

!

無線 LAN アクセスポイント（親機）の機種によっては暗号化キーの欄にキーが表示されます。設定を変更する場合は、表示されたキーを消去して、入力してください。なお自動的に表示されるキーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）底面の無線 LAN 設定ラベルに記載されているキーと同じですのでそのまま使用することができます。

●暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

※TKIP、AES は、Windows Vista ®または Windows ® 7/XP（Service Pack2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

②任意の暗号化キーを入力する

暗号化キーは、8 ～ 63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63 桁の場合】

英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

!	%	)	-	;	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	|
#	'	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

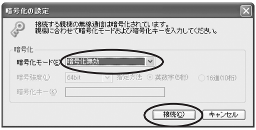
※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】

16 進数（0～9、a～f、A～F）

接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は、次の画面が表示されます。無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて暗号化の設定を行い、［接続］をクリックしてください。

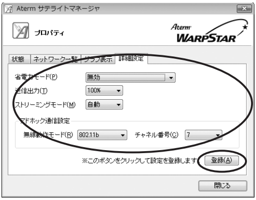


6　［登録］をクリックする

（次ページに続く）

お知らせ

●［詳細設定］タブをクリックすると、次の設定が行えます。
Windows Vista®/Windows® 7の場合、設定を有効にするには、［登録］をクリックしてください。



※画面はWindows Vista®の場合の例です。

・**省電力モード**※2
ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・**送信出力**※2
他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・**ストリーミングモード**
無線通信状態を監視するために無線LAN端末（子機）が行っている、無線LANネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

・**アドホック通信設定**（Windows Vista®の場合のみ）
アドホック通信の設定を行う場合の［無線動作モード］・［チャネル番号］を設定します。Windows Vista®の場合のみの設定項目です。（Windows® XP/2000 Professional/Meの場合は、P94を参照してください。なお、Windows® 7では、アドホック通信をご利用になれません。）

※1　Windows® XP/2000 Professional/Meの場合は、無線機能の有効化／無効化、Windows® XPのワイヤレスネットワークの有効化／無効化の設定も行うことができます。
※2　Windows® 7の64ビット版をご利用の場合は「省電力モード」と「送信出力」はグレーアウトして設定できません。

お願い

●同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線LANアクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］のチャネル表示が［状態］の表示と異なる場合があります。［状態］表示の値を参照してください。
●2台目以降の無線LAN端末（子機）を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。

サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

［プロパティ］：
通信モードの設定、暗号化の設定をすることができます。
［状態］タブで無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を詳細に確認することができます。
無線の通信状態が「普通」または「強い」になることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

［らくらく無線スタート］：
インストール時に「らくらく無線スタートで無線LANの設定を行う」にチェックした場合のみ表示されます。
無線LANアクセスポイント（親機）とのネットワーク名（SSID）や暗号化設定を簡単に行うことができます。（☛P56）

［接続先切替］：
サテライトマネージャで設定した接続先（無線LANアクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

［新5GHz書き換え］：
新5GHz（W52/W53)に対応していない無線LAN端末（子機）を新5GHz（W52)対応にバージョンアップすることができます。
バージョンアップ方法は、別紙に示すお問い合わせ先のホームページをご覧ください。
※新5GHz（W52/W53)に対応していない無線LAN端末（子機）を使用している場合に表示されます。また、新5GHz（W52/W53)に対応している無線LAN端末（子機）を使用している場合はグレーアウトします。

［無線機能を無効化する／無線機能を有効化する］（Windows Vista®/Windows® 7の場合のみ）**：**
［無線機能を無効化する］または［無線機能を有効化する］をクリックすると、無線機能を無効または有効に切り替えることができます。
Windows Vista®/Windows® 7の場合のみの項目です。（Windows® XP/2000 Professional/Meの場合は、［プロパティ］－［詳細設定］にて設定することができます。）

［タスクバーに常駐する］：
［タスクバーに常駐する］にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

［バージョン情報］：
サテライトマネージャのバージョンや無線LAN端末（子機）のドライバのバージョンが確認できます。

［終了］：
サテライトマネージャを終了します。

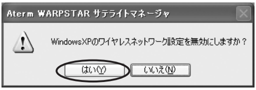
サテライトマネージャを起動するには

サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックします。

Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには

Windows® XP の「ワイヤレスネットワーク設定」でいったん設定を行っていた場合、Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XP の「ワイヤレスネットワーク設定」を停止する必要があります。

① サテライトマネージャを起動する
② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③ 次の画面が表示されるので［はい］をクリックする

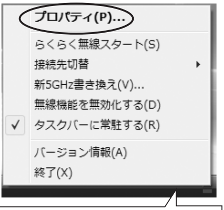


以上の設定を行うと、Windows® XP でサテライトマネージャが使用できるようになります。P59 からのサテライトマネージャでの無線 LAN アクセスポイント（親機）の登録設定、暗号化設定を行ってください。

無線LANアクセスポイント（親機）との接続状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態を確認することができます。

1 **通知領域（タスクトレイ）にある［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**



 無線LAN端末（子機）が正しく接続されていません。

 無線LANアクセスポイント（親機）がみつかりません。

 無線LANアクセスポイント（親機）が正しく検出できています。

無線LANアクセスポイント（親機）との電波の状態は次の通りです。

 青3本 強い

 黄2本 弱い

 青2本 普通

 赤1本 限界

2 **［状態］タブをクリックする**

無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態が表示されます。

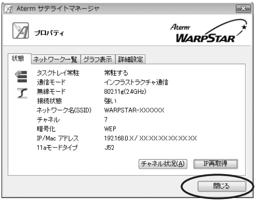
※［11aモードタイプ］で無線LAN端末（子機）が対応しているIEEE802.11aのタイプを確認することができます。（現在通信しているタイプではありません。）



（次ページに続く）

3 **接続状態を確認し、[閉じる]をクリックする**

無線の接続状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

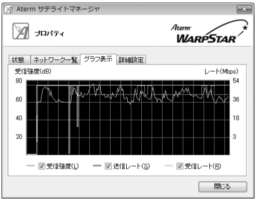


サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。

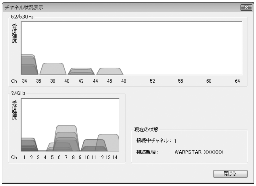
※ Windows® 7の64ビット版をご利用の場合は、送信レート、受信レートは表示されません。



【状態】−【チャネル状況】

近くの無線LANアクセスポイント(親機)で使用しているチャネルや電波の強さを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。

現在、接続中のチャネルは赤で表示されます。



ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XPの場合）で設定する

Windows Vista® および Windows® 7/XPの場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの接続」で無線設定を行うことができます。

※あらかじめパソコンにWL54AGのドライバがインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、サテライトマネージャ（☛P39）または、手動で（☛P45）ドライバをインストールしてください。

「ワイヤレスネットワークの接続」は、無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP(64bit、128bit、152bit※1)」、「TKIP※2」、「AES※2」の場合に、ご利用いただけます。

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1～3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista®/Windows® 7ではご利用いただけません。

※2：TKIP、AESは、Windows Vista®またはWindows® 7/XP（Service Pack2または3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

通常は、サテライトマネージャで設定してください。（サテライトマネージャで設定する場合、Windows® XPでは「ワイヤレスネットワーク設定」を無効にしてください。(☛P70))

Windows® XPでサテライトマネージャを使用して設定を行った場合

Windows® XPの「ワイヤレスネットワーク設定」は無効に設定されます。
Windows® XPの「ワイヤレスネットワーク設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワーク設定」を「有効」に設定し、無線LAN端末（子機）を接続し直す必要があります。

①サテライトマネージャを起動する
②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す



⑤「はい」をクリックする
⑥「閉じる」をクリックする
⑦通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャアイコンを右クリックし、［終了］をクリックする
⑧無線LAN端末（子機）を取り外し（☛P55)、接続し直す

●暗号化設定されている無線LANアクセスポイント（親機）に接続する場合（☛P71）

●暗号化設定されていない無線LANアクセスポイント（親機）に接続する場合（☛P87）

■暗号化を設定して無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されているとき）

無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されている場合は、ここで暗号化の設定を行って無線LANアクセスポイント（親機）に接続します。

Windows Vista® をご利用の場合（☛ 下記）
Windows® 7をご利用の場合（☛P76）
Windows®XPをご利用の場合（☛P81）

Windows Vista® の場合

以下の設定はWindows Vista® のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AESをご利用になる場合の説明です。

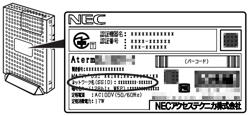
1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする**

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 **無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する**

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

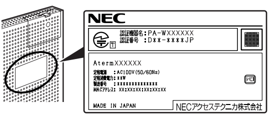




※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

（次ページに続く）

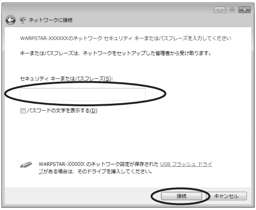
※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［接続またはネットワークをセットアップします］をクリックして、手順6へ進みます。

3 ［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、
下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
① ［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID)を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③ ［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる
上記の手順が完了したら、手順1から接続し直してください。

4 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が1番の場合（工場出荷時は1番）、［セキュリティキーまたはパスフレーズ］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックして、手順13に進む

※無線LANアクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーの確認方法については、P30を参照してください。



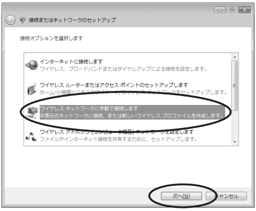
※無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の2番～4番を使っている場合は、［キャンセル］をクリックして、手順5に進みます。

※一度接続した際の暗号化設定を変更して接続する場合も［キャンセル］をクリックして、手順5に進みます。

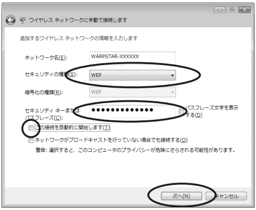
5 ［ネットワークと共有センター］－［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする



6 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



7 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う



※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーの確認方法については、P30 を参照してください。

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する

③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

・16 進数の場合：

0～9・A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

④[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑥[次へ]をクリックする

（次ページに続く）

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]を選択する
②[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する
③[ネットワークセキュリティキー]を入力する

8〜63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8〜63 桁の場合】

英数記号（0〜9、a〜z、A〜Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

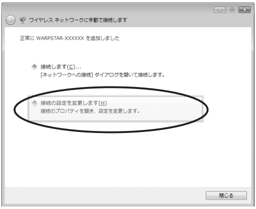
【64 桁の場合】

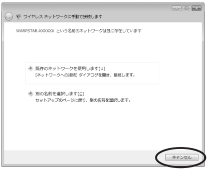
16 進数（0〜9、a〜f、A〜F）

暗号化キーは半角で入力します。

④[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑥[次へ]をクリックする

8 [接続の設定を変更します] をクリックする





上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［OK］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P72 の手順 5 から接続し直してください。

9 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

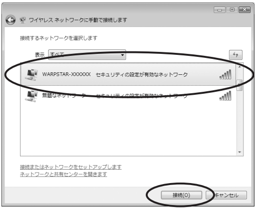


※画面は暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

10 ［OK］をクリックする

11 ［接続します］をクリックする

12 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする



13 ［閉じる］をクリックする



Windows® 7の場合

以下の設定は Windows® 7のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AES をご利用になる場合の説明です。
なお、暗号化の設定を行う場合は、必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

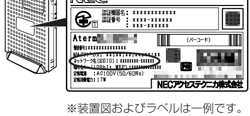
1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※[スタート]（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

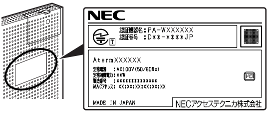




※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックして、手順 6 へ進みます。

3 ［接続］をクリックする

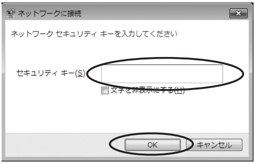


※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID)を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［はい］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 1（☛P76）から接続し直してください。

4 ［セキュリティキー］に暗号化キーを入力して、［OK］をクリックして、手順 13 に進む



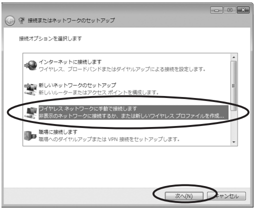
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2 ～ 4 番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、手順 5 へ進みます。

5 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

※［スタート］（Windows ®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

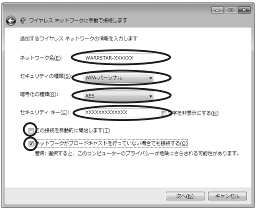
（次ページに続く）

6 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選択し、[次へ]をクリックする



7 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント(親機)と同じ暗号化キーを入力してください。無線 LAN アクセスポイント(親機)の暗号化キーの確認方法については、P30 を参照してください。



※画面は、暗号化モードで AES を使用する場合の例です。

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント(親機)のネットワーク名(SSID)を入力する
②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する
③[セキュリティキー]に無線 LAN アクセスポイント(親機)の暗号化キーを入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
- ASCII 文字の場合:
  英数字 5 文字:
  無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
  英数字 13 文字:
  無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合
- 16 進数の場合:
  0〜9・A〜Fで 10 文字:
  無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
  0〜9・A〜Fで 26 文字:
  無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合

④[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す
⑤無線 LAN アクセスポイント(親機)で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックを入れる
⑥[次へ]をクリックする

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント(親機)のネットワーク名(SSID)を入力する
②[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]を選択する

③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する

④［セキュリティキー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63 桁の場合】英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

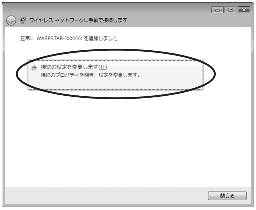
【64 桁の場合】16 進数（0～9、a～f、A～F）

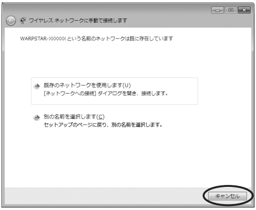
⑤［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑦［次へ］をクリックする

8 ［接続の設定を変更します］をクリックする





上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID)をクリックして右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③「はい］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

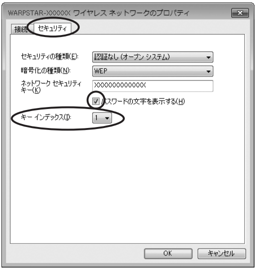
上記の手順が完了したら、P77 の手順 5 から接続し直してください。

（次ページに続く）

9 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

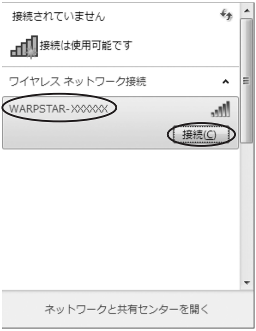


※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

10 ［OK］をクリックする

11 ［閉じる］をクリックする

12 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする



13 ［閉じる］をクリックする

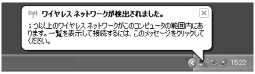
Windows® XPの場合

以下の設定はWindows® XPのワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/152bitWEP※1/TKIP※2/AES※2をご利用になる場合の説明です。

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1～3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※2：TKIP、AESは、Windows® XP（Service Pack2または3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

1　パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される

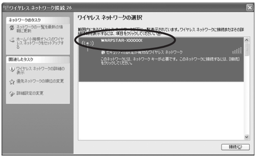


2　パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

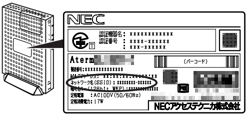
Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3　接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。



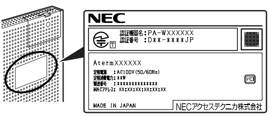
※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。Windows®のアップデート状況により画面が異なります。



※装置図およびラベルは一例です。



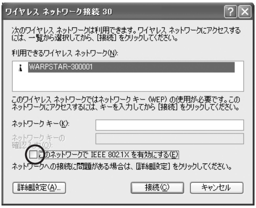
※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

（次ページに続く）

※[利用できるネットワーク］に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。ESS-IDステルス機能を解除するか、無線LAN端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。



※画面はWindows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

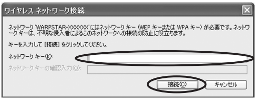
お願い

●［このネットワークでIEEE802.1xを有効にする］の☑は必ず外してください。

4 **Windows® XP（Service Pack 2）の場合は［接続］をクリックする**

Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、そのまま手順5へ進みます。

5 **無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が1番の場合、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする**

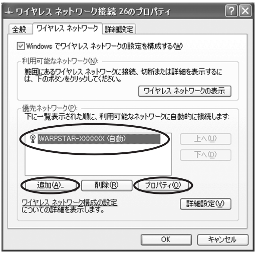


※キー番号に2番～4番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は［キャンセル］をクリックし、手順6に進みます。

6 **［詳細設定の変更］をクリックする**

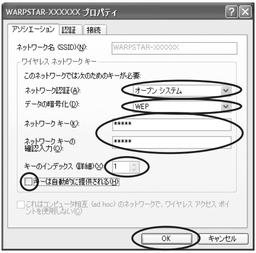
Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、［詳細設定］をクリックします。

7 **［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする**



接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が［優先ネットワーク］（Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は［優先するネットワーク］）欄に表示されていない場合は、［追加］をクリックします。

8 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う



※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーの確認方法については、P30 を参照してください。

■ Windows® XP（Service Pack 2）の場合

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する

②[データの暗号化]で[WEP]を選択する

③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

・16 進数の場合：

0～9・A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 32 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する

⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる

※Windows® XP（(Service Pack2）でこのチェックボックスがない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

⑦[OK]をクリックする

（次ページに続く）

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉
①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する
②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する
③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
【8～63 桁の場合】
英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

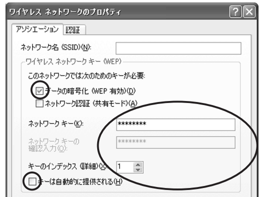
<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>＊</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】
16 進数（0～9、a～f、A～F）
暗号化キーは半角で入力します。
④無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる
※Windows ® XP（(Service Pack2）でこのチェックボックスがない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。
⑤[OK]をクリックする

■ Windows ® XP（Service Pack 1）の場合

※無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が設定されている場合は、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。
①[データの暗号化]にチェックする
（画面に［ネットワークアソシエーション］・［データの暗号化］の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する）
②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す



※画面は Windows ® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII文字の場合：

英数字5文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合
英数字13文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合
英数字16文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

・16進数の場合：

0～9・A～Fで10文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合
0～9・A～Fで26文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合
0～9・A～Fで32文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

④無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のまま使用する

⑤[OK]をクリックする

（次ページに続く）

■Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合

※無線 LAN アクセスポイント（親機）でESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が設定されている場合は、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

①[データの暗号化］にチェックする

②[キーは自動的に提供される］のチェックを外す

③[ネットワークキー］は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bit を選択してください。

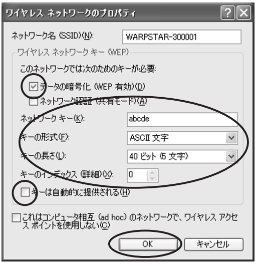
無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bit を選択してください。

キーのインデックス：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。キーのインデックス（詳細）が 0 ～ 3 と表示されますので、1 ～ 4 と読み替えてください。（数字が 1 つずれていますので注意してください。）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）側は、クイック設定 Web の［無線 LAN 側設定］－［暗号化（WEP)］で使用する暗号化キーを確認してください。

④[OK］をクリックする



■無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていない場合は、下記の手順で無線LANアクセスポイント（親機）に接続します。

Windows Vista® をご利用の場合（☛ 下記）
Windows® 7をご利用の場合（☛P89）
Windows®XPをご利用の場合（☛P91）

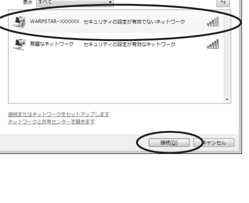
Windows Vista® の場合

1　**［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする**

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2　**接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する**

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。





※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

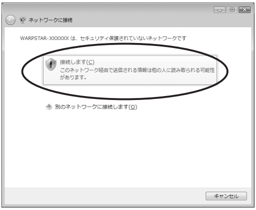


※装置図およびラベルは一例です。

3　**［接続］をクリックする**

（次ページに続く）

4 [接続します］をクリックする



5 [閉じる］をクリックする

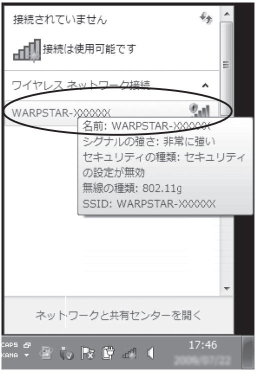


Windows® 7の場合

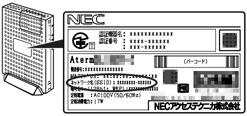
1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする**

※[スタート]（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 **接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする**



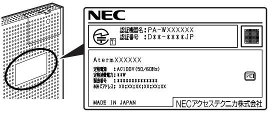
※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

（次ページに続く）

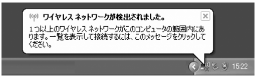
3 ［接続］をクリックする



接続されていません
接続は使用可能です
ワイヤレス ネットワーク接続
WARPSTAR-XXXXXX
このネットワーク経由で送信される情報は他の人に読み取られる可能性があります。
自動的に接続する
接続(C)
ネットワークと共有センターを開く

Windows® XPの場合

1 **パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される**



※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

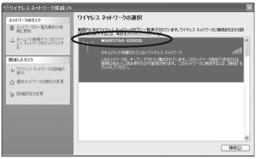
2 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

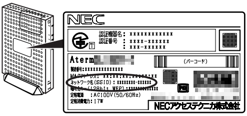
3 **接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する**

・無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

・［利用できるネットワーク］に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。ESS-IDステルス機能を解除するか、無線LAN端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。



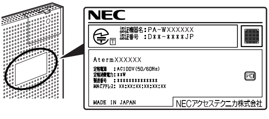
※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。Windows®のアップデート状況により画面が異なります。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

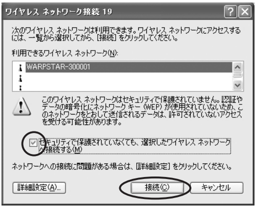


※装置図およびラベルは一例です。

（次ページに続く）

お願い

●次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて［接続］をクリックしてください。



※画面は Windows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

4 **［接続］をクリックする**



5 **次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする**



6 **パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する**



■無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1　通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共通センターを開く］をクリックする

※Windows Vista ®の場合は、［スタート］（Windows ®のロゴボタン）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］をクリックします。

※Windows ® XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2　［状態の表示］をクリックする

※Windows Vista ®の場合は、「状態の表示」をクリックします。

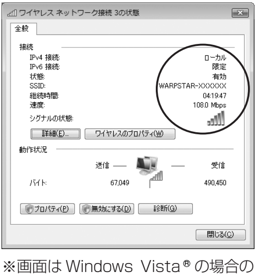
※Windows ® XP の場合は、［状態］をクリックし、［全般］タブをクリックします。



3　無線設定が正しく行われていることを確認する

・［状態］が「有効」になっていること（Windows ® XP の場合は、「接続」になっていること）

・［速度］が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。Super AG 機能を利用している場合は、108Mbps と表示されます。）



※画面は Windows Vista ® の場合の例です。

4　［閉じる］をクリックする

7 アドホック通信の設定を行う

無線LAN端末(子機)どうしで通信する「アドホック通信」の設定を行います。
※ Windows® 7では、アドホック通信をご利用になれません。

アドホック通信の設定をする

1 **通知領域(タスクトレイ)にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する**

2 **[ネットワーク一覧]タブをクリックする**

3 **接続したいネットワーク名(SSID)をクリックして、[設定]をクリックする**

※新しくネットワーク名(SSID)を登録する場合は、【新規登録】をクリックして[設定]をクリックし、手順4の画面で新しいネットワーク名(SSID)を登録します。



※画面はWindows Vista®の場合の例です。

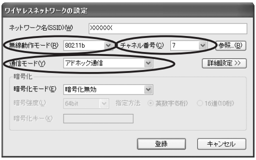
4 **[通信モード]で「アドホック通信」を選択する**



※画面はWindows Vista®の場合の例です。

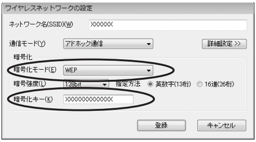
お知らせ

●Windows® XP/2000 Professional/Meの場合は次の手順で設定します
① [通信モード]で「アドホック通信」を選択する
② [無線動作モード]を設定する
③ [使用チャネル]を設定する
※[参照]をクリックして[チャネル番号]を設定することもできます。



5 **暗号化の設定を行う**

［暗号化モード］で暗号化の方法を選択し、設定したい[暗号強度]、[指定方法]の選択をして、[暗号化キー]を入力します。



6 **［登録］をクリックする**

7 **接続したいネットワーク名（SSID）をクリックし、［接続］をクリックする**



無線動作モード／使用チャネルを設定する（Windows Vista® の場合）

Windows® XP/2000 Professional/Me の場合は、「アドホック通信の設定をする」手順４の「お知らせ」（☛P94）を参照して設定してください。

1 **［詳細設定］タブをクリックする**

2 **［無線動作モード］を設定する**

3 **［使用チャネル］を設定する**

4 **［登録］をクリックする**



通信状態を確認する

1 **アドホック通信するパソコンを起動させる**

2 **通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ］を選択する**

3 **[状態］タブをクリックする**

接続状態が「強い」または「普通」と表示されることを確認してください。
「強い」または「普通」にならない場合には、「強い」または「普通」と表示される位置までパソコンを移動させてください。
ネットワーク名(SSID)には、選択したネットワーク名(SSID)が表示されます。



4 **[閉じる］をクリックする**

お願い

- ●サテライトマネージャを必ずタスクトレイに常駐した状態でご使用ください。常駐しないと無線 LAN 接続できない場合があります。
- ●IEEE802.11a モード（J52)および IEEE802.11b モードでのみご利用になれます。(IEEE802.11g では動作しません。)
  ※IEEE802.11a モードでご利用の場合、本商品を新 5.2GHz 帯(W52)対応に書き換えることで（☛P65）、新チャネル 36，40，44，48ch（W52）をご利用になれます。
- ●近くの無線 LAN アクセスポイント(親機)と同じネットワーク名(SSID)・チャネルに設定すると、無線 LAN アクセスポイント(親機)との通信が優先されてしまい、アドホック通信が正しくできない場合があります。同じエリア内にある無線 LAN アクセスポイント(親機)とは異なる［ネットワーク名(SSID)］・チャネルを設定してください。

8 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定、確認方法については、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照してください。

●無線 LAN 端末（子機）の接続に関する問題

症　状	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。 ●Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャでも確認することができます。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線 LAN アクセスポイント（親機）を識別できます。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］内の「無線 LAN アクセスポイント（親機）設定」で確認することもできます。
暗号化のキーを忘れてしまった	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］内の「暗号化」で確認できます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか、確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに無線 LAN カードが入っているか、しっかり奥まで挿入されているか、確認してください。また、無線 LAN カードのランプが同時に点滅しているか、確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ●無線 LAN カード（子機）のランプのつき方を確認してください。消灯している場合は、無線 LAN カード（子機）が無線 LAN アクセスポイント（親機）を正しく認識していません。無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。

症　状	原因と対策
無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）の設定値は、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］内の「無線LANアクセスポイント（親機）設定」で確認できます。 ※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。 ●暗号化を有効にしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線LANカードによっては暗号強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 ※（例）暗号強度 ・WEP64bit→40bit ・WEP128bit→104bit ※（例）暗号化キー ・Windows Vista®/Windows®7のワイヤレスネットワークでは「セキュリティ キー」または「パスフレーズ」 ・Windows® XPのワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」 ・MacintoshのAirMacでは「パスワード」 ●通信モードがあっているか、確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※Atermシリーズの無線LAN端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。 ●無線LAN端末（子機）にWL54AGを使用している場合は、サテライトマネージャの接続先の選択でチェックの入っている接続先を選びなおしてみてください。 ●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。
無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線LAN端末（子機）を移動したり、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。

症　状	原因と対策
「アドホック通信」（パソコン間通信）で通信できない	●通信モードを「アドホック通信」でご使用の場合は、［チャネル番号］が一致しているか、確認してください。（☛P94） ●WL54AGで「アドホック通信」を行う場合は、［無線動作モード］の「802.11a/802.11b」を選択してください。（☛P94） ●IEEE802.11aモードでご利用の場合は、34,38,42,46ch(J52)でご利用ください。ただし、本商品を新5.2GHz帯(W52)対応に書き換えることで（☛P65）、新チャネル36，40，44，48ch（W52）をご利用になれます。 ● Windows® 7では、アドホック通信をご利用になれません。
Windows® XPの［ワイヤレスネットワーク］の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●WL54AG（無線LANカード）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 P44を参照していったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。
無線状態が良好なのに、通信できない	●固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：無線LANアクセスポイント（親機）が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.X
無線状態が良好なのに、速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）が近すぎる場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）を1m以上離してください。 また、Atermシリーズの無線LAN端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャの［プロパティ］－［詳細設定］－［送信出力］で「送信出力」を下げてみてください。
AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●Atermシリーズの無線LAN端末（子機）をご利用の場合で、サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。 ●AVサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。 ●無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となるところに移動させてください。

●サテライトマネージャに関するトラブル
（本商品を無線LAN端末（子機）としてご利用の場合のみ）

症　状	原因と対策
Windows® XPの場合、インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	●サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サライトマネージャをインストールしてください。
らくらく無線スタートが成功しない	●無線LANアクセスポイント（親機)の暗号化が解除されている →無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。 ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定IPアドレスが無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 ●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、添付のCD-ROMを使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWERランプが緑点滅状態になったらいったん離します。手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。(☛P56) ●無線LAN端末（子機）（WL54AGなど）の他にネットワークデバイス（ETHERNETボードなど）が動作している →ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、他の無線LANカードやLANカードおよびLANボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。

症　状	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない（つづき）	●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度が一致していない →無線LANアクセスポイント（親機）に無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度を設定してください。
Windows Vista® およびWindows® 7/XP/2000 Professionalで、サテライトマネージャがインストールできない	●Administrator権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化を有効にしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。 暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。 ●Windows® XPをご利用の場合は、［Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする］設定になっていることを確認してください。
「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）が見つからない	●電波状態により、「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。 このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力して検索し直してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）側のクイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］の「子機の接続制限」で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力するか、ETHERNET接続のパソコンから「子機の接続制限」で「ESS-IDステルス機能」を「使用する」のチェックを外して「ネットワークの参照」で検索してください。 ●無線LAN端末（子機）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボードの機能を停止させないと、無線LAN端末（子機）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードおよびLANボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。
[サテライトマネージャ]アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●無線LANアクセスポイント（親機）との接続ができていません。 「無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない」（☛P97）を確認してください。

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない	●WL54AG（無線LANカード）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 〈Windows Vista®/Windows® 7の場合〉 P44を参照していったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。 〈Windows® XP/2000 Professional/Meの場合〉 P44を参照していったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。

9 製品仕様

WL54AG 仕様

■ 仕様一覧

項目		諸元		備考
端末インタフェース		CardBus		
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/チャネル	5.2GHz 帯（5150-5250MHz）/34.38.42.46ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※ 1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2400-2484MHz）/1 ～ 13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※ 1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2400-2497MHz）/1 ～ 14ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度（※ 1）	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）		
	セキュリティ（※ 2）	SSID、WEP（152/128/64bit）、TKIP、AES		
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED × 2		
利用可能端末		PC-AT 互換機		
利用可能 OS		Windows Vista® 日本語版かつ 32 ビット（x86）版 Windows® 7 日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版（※ 3） Windows® XP 日本語版 Windows® Me 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版		
電源		DC3.3V × 710mA		パソコンから給電
消費電力		約 2.4W（最大）		
外形寸法（mm）（W × H × D）		約 54 ×5 × 118		
質量		約 0.05kg		
動作環境		温度 0 ～ 40℃　湿度 10 ～ 90％		結露しないこと
VCCI		VCCI クラス B		

※ 1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

※ 2 Windows Vista® および Windows® 7/XP のワイヤレスネットワークの接続を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈WEP（152bit）の場合〉

Windows® XP (Service Pack1 ～ 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista®/Windows® 7 ではご利用いただけません。

〈TKIP、AES の場合〉

Windows Vista® または Windows® 7/XP（Service Pack2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※ 3 Windows® 7 では、アドホック通信（☛P94）をご利用になれません。

MEMO

MEMO

MEMO

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載·無断複写することは禁止されています。

（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り·記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4）本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

● 廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

お願い

●パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
●ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WL54AG ご使用になる前に　第 8 版

AM1-000556-008
2010 年 1 月